

回 覧

尾崎小だより No.5

R3.8

み や ま



気温もオリンピックもあついですね

酷暑の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

2年ぶりに夏休みを迎えています。それにしても何とも言えぬ暑い日々が続いています。体調に変化はございませんか？今、一番注意すべきは「熱中症」ではないでしょうか。全国でも救急搬送される人が急増しているようです。熱中症が一番多いのは自宅だそうです。一見、戸外で運動や散歩、作業中が多いように思われますが、家の中でかかる人が一番多いようです。「昼間からエアコンをかけるのはもったいない。」「一人でいるのにエアコンはもったいない。」と私も思ってしまいましたが、その思いが危険なようです。定期的な水分補給、適切な温度管理が大切です。くれぐれも気を付けていただき、この夏を元気に乗り越えられるようお祈りいたします。

子供たちが地域に帰っていきました。夏休み42日間の学びの場が、家庭・地域に移りました。日頃は静かな空間が、にぎやか？（うるさく）なっていることでしょう。蝉の鳴き声が無くなる頃には静かさを取り戻すと思います。夏休みが一番心配していることは事故です。交通事故や水の事故等に子供たちが遭わないよう指導しています。しかし、子供には見守りが必要です。近所周りで危険な行為が見られたら一声かけてやってください。「危ないよ」という一声が子供の未来を守ってくれます。お出かけの際や外に出られたときに少しだけ気にとめていただければ幸甚です。学校でもそうですが、子供の成長には見守ることが何よりも重要なことです。多くの見守りの目の中で成長できる子供たちは幸せだと思います。よろしくお願いします。

オリンピックが始まり、連日アスリートたちの懸命な姿に心が熱くなっています。柔道の大野将平選手が2大会連続の金メダルを獲得しました。世界ランキングNo.1で有り続けることの苦悩が、日頃はクールなイメージの彼の目に大粒の涙を流させていました。同じく世界ランキングNo.1のバドミントンの桃田賢斗選手は、予想外の敗戦に呆然としていました。ソフトボールの上野由岐子選手の13年間の思い等、それぞれの選手の生き様が毎日見られます。開催の是非はあるにしても、この一瞬に賭けるアスリートたちは美しく、心から拍手を贈りたいと思います。人は願いを込めて、時間を費やし、目標に向かって突き進むとき限りなく輝いています。子供と一緒にいると、そんな瞬間に立ち会えるときがあります。一点の曇りなく、真っ直ぐに目標に向かう目は美しいですね。暑い夏ですが心の栄養をたっぷりと補給したいと思っています。結果も大切ですが、この舞台に立つまでの修練、戸惑い、周りの人の支え等、まさにドラマがあります。高校野球の選手に感動するのも同じようなものかもしれません。何かに賭けて、必死に取り組むことは人を大きく引きつけるのでしょうか。第5波がきています。コロナにも十分なご注意願います。